

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 2 号

令和 6 年 4 月 18 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

1 学期始業式における校長としての話から (抜粋)

ご入学おめでとうございます。小学生になって最初のお勉強をしましょう。

①みなさんの周りに咲いている花を見て、どう思いますか。「きれいだな」と感じた人は手を挙げてください。その手を みなさんの胸に当ててください。そこには、大事な心があります。美しく咲いた花を見て、「きれいだな」と感じたり、困っている人がいたら、「助けてあげたいな」と 思ったりする、優しい心になるためのお勉強をします。



②二つ目のお勉強は、頭をたくさん使います。先生の話をしっかり聞いて、たくさん本が読めるようになります。文字を書くこと、数の計算をすること、大事なこともたくさん覚えます。小学校は、かしこくなるためのお勉強をします。

③最後は、体です。自分の体のあちこちを触ってみてください。体を鍛えて、病気に負けない丈夫な体を作ります。小学校は、たくましい体になるためのお勉強もします。でも、体が丈夫でない人、けがをしてしまった人もいます。そんなお友達がいるら、みんなで支え合ってあげましょう。励ましてあげましょう。

「やさしい子 考える子 元気な子」は 堂崎小学校のみんながめざしていることです。堂崎小学校で6年間勉強した子供たちは、みんなやさしく、かしこく、元気になっていくのです。後ろを見てください。お兄さんとお姉さんが、みんなの後ろで、みんなの立派な姿を見えています。これから、みんなが元気に過ごせるよう、いろいろなお手伝いをしてくれます。困ったことがあったら、5年生や6年生を頼るといいです。

これから、立派な小学生になるために、がんばってしなくてはいけないこともあります。

学校ではたくさんのお友達と一緒にです。わがママを言ったり、自分勝手なことをしたりしたら、みんなを困らせてしまいます。小学生になったのですから、大変だな、難しいな、いやだなと思うことも、最後までがんばってみましょう。

堂崎小学校は「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」に取り組み、職員一同全力で教育を進めて参ります。

教育は学校だけ、ご家庭だけでは成り立ちませんので、地域の方々にも御協力をいただきながら、共に育て合うこと、共に協力し 助け合うことが大切です。御支援・御協力をお願いします。

みんな仲良く、人に優しく、たくましく、さらに素晴らしい堂崎小学校をみんなでつくっていきましょう。



入学式 児童代表「歓迎のことば」より

6年生の さん、 さんが新1年生への歓迎のことば言葉を次のように述べました。

・堂崎小学校の3つの子供の目標について

- ①やさしい子(友達に優しくする。)
- ②考える子(どうしたらよいか自分で考える。)
- ③元気な子(元気なあいさつや返事をする。)

・たくさんの行事について(遠足・運動会・いもほりや持久走大会など)

・たてわり遊び(1~6年、みんなで遊べることを楽しみにしている。)

・学校生活で心配なことがあれば、何でもたずねてほしい。

・全校児童107名の力を合わせて、よりよい学校生活ができるように、がんばっていきましょう。



体位測定・視力検査を行っています

新年度が始まり、各学年では、体位測定と視力検査が行われています。写真は、4年生の体位測定の様子です。3年生の頃からどれくらい成長したのでしょうか。背筋が伸びていることが素晴らしいです。

16日(月)は、入学して間もない1年生も身長や体重を計測していました。

好き嫌いなくよく食べ、健康を考えた運動をし、心も体を大きく成長してほしいと思います。



1年生の給食が始まりました 4月15日(月)

担任の永田先生と支援助手の峰先生の指導の下、自分たちで準備・配膳し行儀よく(背筋を伸ばし、お椀をしっかり持って)食べていました。小学校初めての給食で苦戦するかと心配していましたが、私たちの心配をよそに、おいしそうに笑顔で食べていたのが印象的でした。



車での送迎について(お願い)

車での送迎について気になりましたので、4月15日付けで文書(両面)を配布しております。

大きく3点です。①横断歩道から30m程離れたところで、左側(白線側)へ下ろしてください。(左側を通行する。車が止まったことを確認し、横断歩道を手を挙げて渡る。)②緊急な場合を除いて駐車場への乗り入れをご遠慮ください。③来校時も含めて、学校の前を通る際は徐行してください。

子供の存在に気付かず、交通事故が起こってからでは遅いので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

バスを利用して登校する子供たちの様子が気になりましたので、バスに同行しました。その中で、バスの運転手としてお世話になっている さんが「卒業生の中に、卒業の日まで安全に運転していただいたことへのお礼を伝えに来た男の子がいました。その時は、自分も本当に嬉しかったです。」としみじみ話されていました。

また、1年生も歩いて登校していますので、バス停から一緒に歩く機会があり、通行する保護者が笑顔で手を振る様子が見られ、地域の方々から見守られている様子を感じました。